

The University Times

July 2013 Vol. 28

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS® by Eiken X The Japan Times © 2013 JAPAN TIMES, LTD. 3013

CONTENTS

■ Visit a Global Company: グローバル企業訪問 JICA(独立行政法人 国際協力機構) ①②	■ Learn About Industries: この業界を知りたい! 電子情報産業業界 ⑤	■ Studying Abroad in the USA: 海の米留學生/読んでほしいこの3冊 米国留学記/書籍紹介 ⑧	■ IELTS リーディングテストのコツ ⑪
■ Journalist's Eye: 英字新聞記者の視点 「ソニーのラボの新発明」「MIXXO到来!」 ③	■ Column: IELTS Hot News / アゴス・ジャパンに聞く IELTS Hot News / 海外の学部 ⑥	■ Study Abroad Benefits: 留学で培う3つの力 仮説思考力・単身生活力・発言力 ⑨	■ Crossword and Trivia 読み物 ⑫
■ Special Feature: 特別読み物 東京大学 ④	■ News in English 英文記事を読んでみよう ⑦	■ University's Challenge: 国際交流に取り組む大学 武蔵大学 ⑩	

Visit a Global Company: グローバル企業訪問

日本と途上国をつなぐ 援助機関

Vol. 18 JICA (独立行政法人 国際協力機構)

開発途上国・地域が抱える課題に対応すべく、多種多様なアプローチの国際協力を実施しているJICA (独立行政法人 国際協

院や学校の設立、電気や水道、道路といったインフラの整備などを無償で援助する「無償資金協力」、途上国の人材育成を目的に日本人の専門家やボランティアを派遣する「技術協力」などインクルーシブな支援メニューをそろえた、二国間援助では世界最大規模の機関となった。

近年ますます日本企業の海外進出、それも途上国や新興市場でのビジネス展開が活発化しているが、その背景には現地の経済発展がもたらすマーケットの拡大や、インフラ整備による工場進出の促進がある。そして何より半世紀以上にわたる国際協力のたまものである国同士の「友情の輪」が大きく牽引・推進されてはならない。



アゴス・ジャパンに聞く

海外の気になる学部

by 株式会社アゴス・ジャパン
後藤 道代

危機管理の専門家を大学で養成する米国

2001年に起きた「米国同時多発テロ事件」により、世界貿易センタービルに、ハイジャックされた航空機が衝突し爆発炎上する映像が放映され、世界中に震撼が走りました。2005年には、米国南部を超大型ハリケーン「カトリーナ」が襲い、ルイジアナ州ニューオーリンズの8割が水没するという多大な被害をもたらしました。また、2007年に起きたアメリカの住宅バブル崩壊は、世界経済に大きな影響を及ぼしました。

国際的に強大な影響力を持つ米国では、危機管理に関わるリサーチや専門家の養成が行われています。政治の中核であるワシントンD.C.には連邦機関に加え、世界銀行、国際通貨基金(IMF)などの国際機関も集まっています。そのワシントンD.C.に、Crisis, Disaster and Risk Managementの専門研究所や専門家養成のための大学院レベルの学位コースがいくつかあります。

ジョージ・ワシントン大学で1994年に設立された研究機関、Institute for Crisis, Disaster and Risk Managementは、工学、医学、国際関係学部にもたがえる教育機関です。連邦政府、州政府、自治体

や非政府機関などと連携しながら理論と実践を両立し、専門家を養成しています。

必須科目として、「情報システム管理」や「財務管理」「不確実性下における意思決定」などがあり、情報システムに精通することが基本となります。国土安全保障のためには、いち早く情報をキャッチし、データ分析を行い、危機を予測したり、ハッキングや事故から情報を守ることが必須だからです。

危機管理プログラムの重要性が問われる

選択科目は、IT技術、財務、医療、意思決定プロセス、脅威との対峙方法、指令の仕方など多岐にわたります。Geographic Information System for Emergency ManagementやManagement of Risk and Vulnerability for Hazards and Terrorismは人工衛星や踏査などからのデータをリアルタイムで編集したりシミュレーションし、災害やテロなどが起きた場合、被害の対象地域を特定したり、被害の大きさを推測する技術を学ぶコースです。Medical and Public Health Emergency Managementというコースでは、緊急事態において、専門医療関係者以外の管理者が持つべき

震災や原子力事故、経済・金融危機、テロ、外交上の緊張など、様々な緊急事態を想定した危機管理対策は国の重要課題の一つです。日本では、東日本大震災により、早急の優先課題として自治体による防災対策、復旧・復興対策が進められています。しかし総合的な政策として実施するには、専門家の養成が必須となります。海外の教育機関ではどのようなコースが提供されているのか気になるところで。

スキルや、現場で起こり得る公衆衛生や心理・行動障害について学びます。Disaster Recovery and Organizational Continuityというコースには、民間組織や自治体との連携の仕方や、被災後の環境への影響についての内容も含まれます。

Management of Terrorism Preparedness and Responseでは、非常事態宣言と戒厳態勢の指令方法、テロに対する国としての対応の仕方など、国家レベルの組織の緊急時判断や対応をケーススタディを通して学びます。また、International Disaster Managementは、国際的な危機問題から世界で起きる災害や事故に対して、活動の中心となる専門機関やポリシー、オペレーションに必要なものを学び、いざという時に現場に対応できるように準備をするコースです。

このような危機管理プログラムは、予測不可能と思われる災害や危機を、最新技術と事例の分析で予測し、対応策を準備することを目的としています。日本では、2011年の東日本大震災により、防災対策、復旧・復興対策、危機管理対策が十分でないことが明らかになりました。その重要性を再認

識し、政策研究大学院大学(GRIPS)で、防災・復興・危機管理プログラムが提供されるようになりました。今後さらに充実する分野と言えるでしょう。

〈危機管理コースをもつ他の大学〉
Georgetown University (US)
Harvard Kennedy School (US)
University of Texas, Austin (US)
University of Manchester (UK)
University College London (UK)

株式会社アゴス・ジャパン

大学・大学院留学のテスト対策、出願対策の指導専門校。トップ校合格に必要な各種英語テストの攻略法および出願カウンセリング指導により、過去3年間で約2,500件以上という、圧倒的な合格実績を誇る。大学でのテスト対策講座なども行っている。

■東大生の留学体験記を無料で!
iPhone・iPadアプリ「東大より留学」
<https://itunes.apple.com/jp/app/id568008104>

後藤 道代 (ごとう みちよ)

留学カウンセラー 歴18年、アゴス・ジャパン学術留学担当、インディアナ大学教育大学院、言語教育修士、ブリティッシュ・カウンシル公式資格取得カウンセラー